

少子高齢化に対応した多核連携都市の実現に向けて、市民誰もがシームレスに情報の取得やサービスの利用ができる仕組みを構築したい

テーマ4.市民誰もがシームレスに情報の取得やサービスの利用ができる仕組みの構築

現状

- 人口減少・少子高齢化の進行による生産年齢人口減少、それに伴う税収等の低下が見込まれる中で、現行の都市サービス（公共交通、インフラ整備等）を維持することが困難になりつつあり、これに対応するためデータやICTも活用した様々な情報やサービスが展開する多核連携都市の実現を目指している
- 一方で、情報通信技術（特にインターネット）の恩恵を受けることができる人とできない人の間に格差が生じつつあり、多様な市民が必要としている情報の取得やサービスの利用をシームレスに行える仕組みが求められている

目指す姿

- 誰もが必要としている情報の取得やサービス利用をシームレスに行え、誰もが快適で利便性の高い暮らしを送ることができる多核連携都市を実現する



解決したい課題

高齢者、障がい者、子育て世代、外国の方々を含めた多様な市民誰もが、必要としている情報やサービスの利用をシームレスに行える仕組みを構築したい

想定される情報や提供サービスの分類

モビリティ(交通)

防災・避難

子育て

買物

外国語

【関連する取組】高齢世帯向けオンラインコミュニケーションに係る実証事業

業務担当課：市街地整備課